

・(株)環境地質 ものづくり補助金が採択される

平成25年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」の1次公募2次締切に応募され、採択されました。

広報担当がお伺いして、「ものづくり補助金」獲得のご苦労をお聞きしました。写真は、代表取締役稲垣秀穂氏が執務している姿です。(2頁)

・中小企業者及び創業者セミナー第一弾

日本再興戦略は、英米並みの開業率及び廃業率10%を5年間で達成するのが目標です。2011年度の開業率が4.5%、廃業率3.9%ですので、かなりアクセルを吹かさなければなりません。

創業前から創業後まで、行政と支援機関が一体となって、起業家を支援するセミナーが開催されました。(3頁)



・平成26年度定時総会開催される

平成26年5月19日に定時総会が開催され、中長期経営計画の承認、理事の選出及び選出された理事の互選で、理事長、副理事長、専務理事が選出されました。(5頁)

・新理事長のご挨拶

定時総会で選出された新理事長 小池 登志男の御挨拶です。(6頁)

・新任理事のご挨拶

6月24日の理事会で、新任理事の担当(自主事業:中山進、専門研究会:村上出、広報:菅谷宏)が決まりました。各理事からのご挨拶です。(6頁)

・新会員の自己紹介

平成26年度に入会された遠藤仁氏と都築寛志氏の自己紹介です。(8頁)

・けいしん情報

(公財)横浜企業経営支援財団へBCP専門家を派遣
会員である岡 春庭氏が「会社を黒字にする とっておきの経営革新術」を出版
事務局が11階から2階へ移転 (10頁)

(株)環境地質 ものづくり補助金が採択される

会社概要

社名 株式会社 環境地質
代表者 稲垣 秀輝
所在地 〒210-0014 神奈川県川崎市川崎区貝塚 1-4-15-203 ライオンズマンション第10
TEL. 044-221-1910 FAX. 044-201-2606
ホームページ <http://www.kankyo-c.com/>
資本金 1000万円
設立 1991年4月

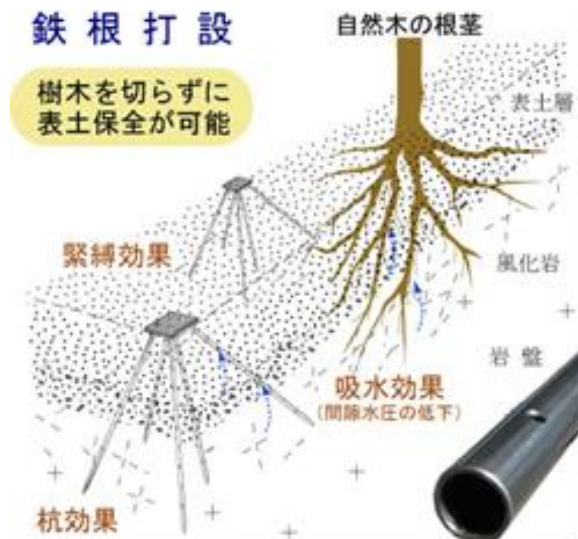
稲垣社長さんに、ものづくり補助金に応募した経緯や申請書類作成のコツなどを、インタビュー形式でお伺いしました。屹度、これから申請書類を作成する経営者の方々のお役に立てるものと思います。

広報 御社の事業を教えてください。

社長 当社は、防災事業・環境事業・維持管理事業・あんしん宅地事業について、主として、地形・地質などの地盤解析や評価を行っています。その中最近では、建築業者や個人からも地盤調査依頼を受けて、土砂災害の防止やインフラの維持管理等のコンサルティングや施工を請け負っています。

特に、横浜市や川崎市はたびたび崖くずれが発生し、1961年に制定された宅地造成等規制法ができるきっかけを作ったような斜面災害が多い地域です。このような地域では、コンクリートによって斜面を固めることが多いのですが、斜面での表層崩壊をくい止めようと、樹木を伐採するやり方は、住環境に悪い影響を及ぼし、望ましくありません。当社は樹木を切らずに表層斜面崩壊を防止する工法【鉄根打設工法】を開発しました。

右図に見られるように、森林植生は、山腹の土層に強じんな根系を網のように広げる**緊縛効果**、大小さまざまな杭を打ったように張り表土をつかむ**杭効果**、斜面を崩壊させる過剰間隙水圧が発生しないよう水圧を除く**吸水効果**



果を持っています。これらの森林の根系が持つ国土保全機能を、“鉄の根っこ”によって補完・補強する工法が【鉄根打設工法】です。

従来の斜面等の表層崩壊防止工事は、樹木を伐採し、設計で定められた勾配になるように斜面を削り、モルタルやコンクリートで斜面を覆う等の工法がとられることから、工期が長くて大規模な工事となり、多額の費用が必要になります。

当社が開発した工法は、樹木を伐採することなく森林植生を活用するので、

比較的短い工事期間ですみ、結果的に工事費用も安価になります。

広報 ものづくり補助金を申請しようとしたのはどのような経緯ですか？

社長 「うちはものづくり補助金を申請してパスしたよ。お宅は？」言われて、ハッと気づきました。“鉄の根っこ”の試作及び試験施工を行いました、本格的に市場投入するには、もう一工夫が必要だと思い、ものづくり補助金の「革新的サービス」に応募することにしました。

広報 申請書類を見た時点では、どのように思いましたか？

社長 様式2の事業計画書を拝見したところ、事業の具体的な内容はA4の半ページに記載するだけであり、意外に簡単な事業計画書だと思いました。こんな簡単な計画書で当社の事業を分かって頂き、適切な審査をして頂けるのか疑問に思いました。しかも書類審査だけですからね。

広報 事業計画書を作成するにあたって、どのようなことに留意しましたか？

社長 審査員の方たちに、短時間で当社の事業を理解して頂くことに心掛けました。【鉄根】という独特な用語ですから、図を付け加えて、一見して分かるようにしました。

一度、試作及び試験施工をしていますから、市場に投入するにあたっては、どのような課題があるのかを承知しており、課題を列挙しました。課題解決に当たっては、今までは大まかな日程だけを決めて実行していましたが、「ものづくり補助金」を頂く際には、課題毎に、誰がいつまでに解決するというマイルストーンを明確にしました。

広報 平成25年度補正「中小企業・小

規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業（ものづくり、商業・サービス）」の一次公募の一次締切の採択率が39.4%（応募件数：7,396件、採択件数：2,916件）、二次締切の採択率が44.6%（応募件数：15,019件、採択件数：2,916件）です。今後応募する方へのアドバイスは？

社長 意外と選択されない件数が多いですね。最初、様式2の事業計画書を見て悩みましたから。「けいしん神奈川」のコンサルタントから適切なアドバイスを得て助かりました。4頁の事業計画書が、結果的には倍の8頁にも膨らみました。

当社が応募したのは「革新的なサービスの提供」ですので、3～5年計画で付加価値額が年3%以上、経常利益が年1%以上を達成する事業計画が要求されています。大きな値にしたいところですが、現実的な値としました。

当社の事業に精通していない審査員の方たちにも、当社が何をしようとしているのか、ある程度ご理解いただけたものと思います。

広報 今後のご予定は？

社長 事業計画に沿って、“鉄の根っこ”の開発、施工方法の確認を進め、本年末には目処を付けたい。私は横浜市の「横浜市造成宅地等災害防止対策検討委員会」や東日本高速道路(株)の「横環南自然環境検討委員会」の委員や京都大学防災研究所の非常勤講師に就任しており、斜面防災や自然環境保全に係る多くの専門家と意見を交換しています。本製品のコンセプトは幅広い支持を得ており、早く、市場に投入したいと考えています。

広報 本日は、長時間にわたるインタビューに応じて頂き有難う御座います。

中小企業経営者及び創業者セミナー第一弾

神奈川県信用保証協会、(公財)神奈川産業振興センター、(公社)けいしん神奈川の共催による「中小企業経営者及び創業者セミナー」の第一弾が、7月18日(19~21時)川崎商工会議所にて開催されました。下記の式次第にあるように、第一部は(株)SHC Collaborationの代表取締役である石原直美様からの起業にまつわるお話を、第二部では各支援機関から、創業時の資金調達、補助金申請等の経営支援、創業者への支援施策等、豊富な支援メニューが説明されました。

特に代表取締役である石原直美様の体験に基づくお話は、起業家の皆さんに深い感銘を与えたものと思います。ニッチな産業&分野で創業し、差別化をせよ。成功している企業の中からお手本を見つけ、真似せよ。職人気質では経営者になれない、経営のイロハを勉強せよ。意識を変えるためには、起業を志す人が集まる場に参加せよ。購買の決定権がお客様にあることを常に心掛けよ、等。

創業応援隊 in かわさき

○開会のあいさつ 神奈川県信用保証協会
経営支援室長 伊藤 敏彦

【第一部起業家による開業体験談】

講師 株式会社 SHC Collaboration
代表取締役 石原 直美

【第二部中小企業支援機関による創業支援の仕組み】

○創業時の資金調達について 神奈川県信用保証協会
○補助金申請支援等の経営支援 (公社)けいしん神奈川
○創業者への支援施策 川崎商工会議所
(公財)神奈川産業振興センター

(株)SHC Collaborationはマルタ共和国にある語学学校への留学手続き代行に特化することで、創業(2003年10月)から10年でNo.1の地位を獲得しました。創業時は留学手続き代行が1校だけだったので、1年間で扱えたのはたった4名。「これは拙い。お客さんには選択肢がないと、当社を選択してもらえない」と思い、新橋にあるマルタ観光局へ相談に行き、他の学校を紹介して戴いたとのこと。現在は12校。2年目には100名を獲得。創業からわずか10年で2,000名の代行実績を獲得し、現時点では、日本市場(マルタへの語学留学生は年間約900名)で35%のシェアを獲得しており、ニッチ市場でのトップになることができましたとのこと。

経営をマスターしようと、錦糸町にある学校に1年間通い、利益を上げ会社を持続する仕組みを考え続けたそうです。あくまでも顧客本位のビジネスでなければ、サービスや商品を買ってもらえないですから。

ホームページもこれだと思う会社のもの真似して、プロに作り直してもらったところ、集客が倍になったそうです。航空券の手続きは大手旅行代理店H.I.Sと提携して、当社が不足する機能を補いながら、しかも信用力もアップさせている。

女性社長であることを武器にして、兎に角、課題を見つければ、即行動に移す、エネルギーギッシュな社長さんです。

平成26年度定時総会開催される

平成26年5月19日に、ホテル横浜ガーデンにおいて、平成26年度定時総会が、下記の式次第で開催されました。

第一部	総会
議事	
第1号議案	平成25年度事業報告並びに収支決算について
第2号議案	けいしん神奈川の中長期経営計画について
第3号議案	理事の任期満了に伴う改選について
第4号議案	その他
第二部	会員表彰及び懇親会
(1)	会員表彰（25年表彰、15年表彰）
(2)	懇親会

第一部の総会では、平成25年度の事業報告並びに収支決算、けいしん神奈川の中長期経営計画が承認された後、理事の選任が行われました。改選に当たって設置された役員選考委員会から提案があり、これが承認されて、10名の理事（再任7名、新任3名）が選任されました。総会当日に理事の互選によって、理事長、副理事長、専務理事を下記の通り、選出しました。

理事長	小池 登志男
副理事長	上坂 渉 望月 建治
専務理事	尾高 健三郎

6月24日に開催された第二回理事会での話し合いの結果、各理事の担当は下記のとおりとし、各副理事長がバックアップする体制としました。

副理事長	上坂 渉	副理事長	望月 建治
総務・会計	井上 真伯	事業開拓関係	牟田 賢己
会員関係	北 明雄	自主事業関係	中山 進
専門研究会	村上 出	広報	菅谷 宏

第二部においては、長年、中小企業支援業務に従事してその職責を果たし、且つ、法人の本分を全うした者として、下記の各氏が会員表彰されました。

25年表彰	岡 春庭	廣瀬 實
15年表彰	小池 登志男	

来賓として出席して頂いた顧問、参与の方にもご出席いただいていた懇親会は、カラオケも飛び出す和やかな雰囲気の中でお開きとなり、会員一同、「公益社団法人としてやっていく」という決意を新たにしました。

新理事長のご挨拶

小池 登志男

公益社団法人けいしん神奈川は昭和45年に設立、この間長年にわたり中小企業の経営支援、地元経済の活性化、地域振興等の幅広い活動により社会への貢献を果たしてまいりました。

「事業価値創造の専門家集団として、地域社会の発展に貢献します」を理念とし、次の4つの使命を掲げて中小企業診断士、社会保険労務士、公認会計士、税理士等の各種の専門家が活動しています。

- 1、時代・環境の変化に的確に対応するための課題・解決方法を調査・研究する
- 2、行政・公的機関等への施策提言が出来る集団を目指す
- 3、地域内の企業・集団との連携を高める
- 4、関連する情報の収集・発信力を強化する

公益法人制度改革法案の施行に伴い、平成24年4月に公益社団法人となり、組織の名称を社団法人神奈川県経営診断協会から公益社団法人けいしん神奈川に改めることとなりました。「けいしん」の愛称で、長年にわたり親しまれたこともあり、この「けいしん」を正式名称といたしました。さらに、平成25年12月には経営革新等認定支援機関の認定を受け、中小企業支援機関として一層の体制強化をはかることができました。

事業内容としては、神奈川労働局より「中小企業相談支援事業(最低賃金総合相談支援センター)委託業務」を受託しているのをはじめ、BCP計画策定、創業支援、事業承継への支援等中小企業への支援機関として幅広く事業の展開しています。福祉分野においても福祉サービス第三者事業、指定管理者第三者評価事業といった活動をとおして、社会福祉への貢献も果たしています。

これからも、各種の専門家による経営相談・支援、調査研究といった活動を活発化して、組織体制のより一層の充実をはかり、中小企業への支援、地域活性化、社会福祉への貢献といった幅広い分野で地域の発展に寄与することをモットーに掲げ、会員一同さらなる精進、努力して参りますので、皆様のご支援とご協力、よろしくお願い申し上げます。

自主事業担当理事のご挨拶

中山 進

東京での自営コンサルタント業が20年以上経過したころ、機会を得て21MM研究会に参加するようになり、やがて、まち活研にも顔をだすようになって正式に会員となりました。その時は、横浜という場に惹かれたことと研究会での知識習得という軽い気持ちで、あまり深く係ることは想定していませんでした。

二つの研究会が40周年の際にガイドブックや研究レポートを作成することになって、入会間もない会員でありながら先輩会員の方たちとの共同作業に加わることができました。そして、3年前のBCP受託事業のプロジェクトを皮切りに、2年前からはB

CP応援隊として、メンバーの方たちと楽しい時間を過ごすことが多くなりました。

個人的な関心で、明治初期の欧米使節団を研究する100人規模のNPOの幹事を10年ほどやっているのですが、やはり数年前は会員数減少と平均年令の上昇による活動の停滞に悩んでいました。ところが、最近、従来少なかった年代の会員（特に女性）が少しずつ増え、彼らが核となって活動の輪が広がるという傾向にあります。けいしん神奈川も、厳しい環境ではありますが、比較的若い年代の新会員（女性会員は未だですが）が加わるようになり、新しい動きが出てくるのではないかと期待をしています。

会社などと異なり、会員の任意活動によって運営される組織の活力の源は、自主的なチームやグループの活動であると感じています。この度、理事となりましたが、現在の活動をベースにして、新事務局長（専務理事）の尾高さんを少しでもサポートできればと考えています。

専門研究会担当理事のご挨拶 村上 出

本年5月19日に開催されました総会にて、理事として信認頂きました。はじめに、簡単に自己紹介させていただきます。

工場プラントの自動制御メーカーのエンジニアとして4年ほど経験を積み、ソフトウェア制御に興味を持ったことから、その後横浜市内のメーカーで20数年間、電子制御機器や社会システムのものづくりを経験致しました。5年程前に、これまでの経験を活かして地域産業の活性化や中小企業のご支援で社会に貢献したいと考え独立致しました。以降、ものづくりのメッカ、東京都大田区のものづくり中小企業のご支援のほか、地域エネルギーの在り方や港湾でのBCP取組みなどで国や自治体様へのご支援をさせて頂いており、今後も自身のノウハウを活かした活動を続けて行きたいと考えております。

さて、この度、理事を拝命するとともに「専門研究会」関連の活動活性化等の役割を担当する事となりました。現在、けいしん神奈川では、主に次の専門研究会が、それぞれ活動されています。

- ・ものづくり企業研究会
- ・まち活研究会
- ・21MM研究会
- ・コミュニティビジネス研究会

私自身をはじめ会員の皆様の中にも、直接参加されている以外の研究会活動については、余りご存じではないと思います。研究会で得られた知見は、けいしん神奈川全体として活用出来ればと思います。また、個々の研究会が相互に連携することにより、新たに得られる成果もあるかも知れませんね。今後は、各研究会の活動内容や成果を会員の皆様にお伝えし、このような、けいしん神奈川オリジナルの資産を、うまく活用していけるよう推進していきたいと考えます。皆様のご理解・ご協力を得ながら、取組みを進められれば幸いです。

広報担当理事のご挨拶

菅谷 宏

新米理事の菅谷です。1991年に入会したのですが、本格的に専門研究会や事業活動に参加したのは、定年退職をしてからです。そこで、受託した事業をどのような流れで実行していくのかを体験しました。

まず、事業責任者が会員に参加を呼びかけます。参加した方のなかには、馴染みの方もいれば、初対面の方もいます。事業責任者が全体をまとめ、納期に従って事業を遂行し、事業が終了すれば、報告書を提出して解散するという具合に進みます。

ここで感じたのは、初対面の方とはお互いにプロフィールを全く知らないということです。共同作業をしながら分かりあい、分かりあったところには解散です。次の事業で、また一緒になればより親近感が深まります。

私は偶々誘われて「ものづくり企業研究会」に参加しました。他の研究会もありますが、活動内容がほとんど見えていません。知り合いがいれば、その人を介して色々な情報がもたらされ、興味を持ち、参加する気にもなるでしょう。

本法人の仕事の仕方は、プロジェクトが始まればそれに相応しい会員が集まり、終了すれば解散するというスタイルです。会員間のコミュニケーションを意識的に深めなければ、お互いに知らない会員が存在するということです。

在り方プロジェクトのホームページリニューアルでは、①けいしん神奈川の強みをしっかり打ち出す、②入会促進を前面に出す、③中小企業向けの経営情報提供を行うとあります。広報担当の理事としては、在り方プロジェクトの方針に加えて、会員間のコミュニケーションがより活発になるような方策を考えていきます。

新会員の自己紹介

会員 遠藤 仁

NPO法人・モノづくり応援隊 in 大田区で一緒させて頂いている、監事の宮川さんの紹介で入会しました。

直近では、大田区にある工業用樹脂の加工・販売会社様を支援しました。「樹脂の端材をいかに活用するかが課題」との社長の発言を受けて、端材のネット販売を提案し構築も代行しました。構築したサイトは次の通りです。

<https://ssl.np-sangyo-shop.com/shop/html/>

売上額も件数もまだまだ少ないのですが、今まで取引のなかった様々な地域の会社から注文が入っておりネットの威力を改めて感じています。

中小企業診断士として小規模企業支援の経験を多く重ねて、お客様および「けいしん神奈川」に貢献できるようになりたいと思っています。ご指導のほど、よろしく願います。

◇主な経歴

- ・北海道旭川市出身、49歳。
- ・SEとしてNTTデータの関連会社に勤務。
貿易関連、CO2排出権取引関連等の公共系システム開発・運用に携わる。

- ・会社務めの傍ら、NPO 法人・モノづくり応援隊大田区に所属し、大田区内の中小製造業企業へ経営助言、補助金導入支援等を実施。
- ・2006/8 IT コーディネータ登録
- ・2013/9 中小企業診断士登録

新会員の自己紹介

会員 都築 寛志

私は宮崎県延岡市で生まれましたが、父親の仕事の都合で転勤が多く、中学生時代を北海道白老郡白老町、高校時代を東京都杉並区で過ごしました。大学は一人暮らしに憧れて名古屋へ。航空工学を学びました。その後会社訪問で気風の気に入った横浜のエンジニアリング会社に就職しました。各地を転々として育ったせいか、なんでも美味しく食べられて、どこも寝られる、物怖じしない、という特技が身についたようです。

中小企業診断士の資格は6年前に取得したのですが、実務従事でもらった会社の社長さんに非常に感謝してもらえたことに感激し、独立を志すようになりました。

その後、いろいろな方に助けてもらい、今年2月によりやく独立することができました。しかしながら、神奈川でのネットワークが残念ながら少なく、先輩診断士の方に紹介していただき、6月からけいしん神奈川に入会しました。

◇主な職歴

1995年に日揮株式会社に入社し、主に国内医薬品メーカーの工場および研究所の建設プロジェクトに従事しました。2009年からCO2排出権取引事業、再生可能エネルギー事業、石炭スラリー事業など、海外における新規事業案件の開発を担当し、数多くのフィージビリティスタディや事業デューデリジェンスなどを行ってきました。

2014年2月に日揮株式会社を退社し、経営コンサルタントとして独立。現在は建設業、製造業の支援を中心に行っております。

◇保有資格

中小企業診断士のほかは、建設に関連する資格（エネルギー管理士（熱分野）、1級管工事施工管理技師、第3種電気主任技術者）を所有しております。独立して少し自由な時間ができたので（というより、仕事が。）、8月に技術士二次試験にチャレンジする予定です！

◇得意分野

日揮株式会社で学ばせてもらったプロジェクトマネジメントの知識と経験を活かせる、建設業、受注生産型製造業の支援を得意としています。経営管理面だけではなく、投資の意思決定支援や海外進出の支援も可能です。

◇今後のチャレンジ

行動力、発想力、体力には特に自信があります。それらを生かし、今後、経営コンサルタントとしての価値を高めるため、事業再生や事業承継の案件に積極的にチャレンジしたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

◆◆◆ けいしん情報 ◆◆◆

■（公財）横浜企業経営支援財団へBCP専門家を派遣する

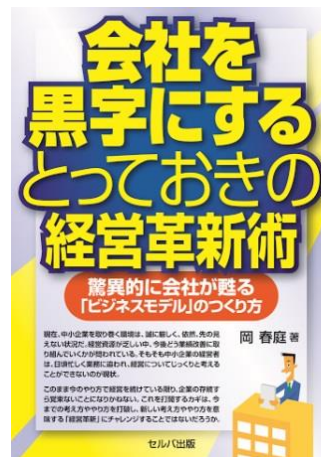
（公財）横浜企業経営支援財団は、6月13日（済）と9月25日に事業継続計画（BCP）策定入門セミナーを実施します。参加企業の中からBCP策定を希望する会社へ、（公財）横浜企業経営支援財団がBCP専門家を派遣して、BCP策定を支援します。派遣する専門家は、平成23年度神奈川県から「公益社団法人けいしん神奈川」が受託した「神奈川県中小企業BCP指導体制整備事業」で養成したBCP専門家です。昨年度に引き続き、今年度もBCP専門家の活躍が期待されます。

■会員である岡 春庭氏が「会社を黒字にする とっておきの経営革新術」を出版

平成26年度定時総会で表彰された岡 春庭さんが「会社を黒字にする とっておきの経営革新術」を出版されました。

著者は、大手電機メーカーを飛び出した後、中小企業診断士、税理士資格を取得し、税理士法人を設立しました。2013年1月にベイヒルズ税理士法人に組織変更して、代表社員に就任しました。その間、常に当法人は経営者のためにどうあるべきかを問い続け、事業戦略や組織の見直しに取り組むことで、売上高は毎年20%前後の増収（10年前に比して）を続け、社員も50名近くに増えました。

著者はこの様な経験をベースに、中小企業の経営者に「経営革新による業績改善」を訴えます。経営革新を進めるための2つの方法、①事業戦略の構築における経営革新、②経営体質強化のための経営革新を示し、本書では、抜本的経営革新を進めるために取り組むべき考え方と方法を、各種フォーマットを使いながら分かり易くまとめてありますので、是非ご一読ください。



■事務局が11階から2階へ移る

事務局が11階、最賃相談室が6階と別々の部屋でしたが、6月16日に2階へ移動した後は、事務局と最賃相談室が部屋の中が仕切られているだけで、機動的な運用ができるようになりました。

<p style="text-align: center;">編集後記</p> <p>6月24日に開催された理事会で、広報を担当することが決まり、前任者から引き継ぎました。短期間のうちバタバタと原稿を集めて、何とか形を整えましたが、何処まで出来ているやら。</p>	<p style="text-align: center;">公益社団法人けいしん神奈川 広報誌</p> <p style="text-align: center;">発行 理事長 小池 登志男</p> <p style="text-align: center;">〒31-0015 横浜市中区尾上町 5-80</p> <p style="text-align: center;">電話 045-633-5163</p> <p style="text-align: center;">FAX 045-662-5174</p> <p style="text-align: center;">E-mail: keshin@apricot.ocn.ne.jp</p> <p style="text-align: center;">編集 広報担当理事 菅谷 宏</p>
---	---